

## 第6回オンライン自主研修 感想・意見

### 東灘区保護司会

### 第6回オンライン自主研修のご案内

12月9日(木)10時から12月11日(土)22時まで

※令和3年6月3日(木)14:00~16:00に配信したものです。

「親子の愛着形成—愛着障害がこころと行動に与える影響—」

愛着は、子どもの安心感・安全感と密接に関連します。そのため、愛着形成が阻害された状態は、情緒の不安定さや自分や他者に対する攻撃性など、子どものさまざまなこころの問題と関連することになります。愛着障害が、子どものこころと行動に与える影響についてご講演いただきます。



講師 宮本 信也氏 小児科医

筑波大学心身障害学系助教授、教授、附属聴覚特別支援学校校長、附属特別支援教育研究センター長、副学長を経て、白百合女子大学教授、令和2年4月より同大学副学長。専門は、発達行動小児科学。

「保護観察のための発達障害処遇ハンドブック」「保護司のための発達障害Q&A」監修。

#### ◆申込方法◆ 申込締切り：10月29日（金）

- ・事前申込制です。
- ・以下のURLにアクセスいただくか、QRコードをタブレットやスマートフォンで読み取っていただき、申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。

URL:<https://kouseihogo-kouenkai.jp/>

- ・日本更生保護協会のホームページからも申し込めます。

日本更生保護協会 お知らせ

検索



- ・申込受付後は、

- ①「参加申込を受けました」と自動返信メールが送信されます。  
※自動返信メールが届かない場合は、入力メールアドレスに誤りがあるか、迷惑メール防止設定により受信が拒否されている可能性があります。  
申込時のメールアドレスをご確認の上、事務局までご連絡ください。
- ②申込時に入力いただいたメールアドレスに、講演会を視聴するためのURLがメールで講演会ごとに届きます。
  - ・第5回：11月8日に視聴用URLを配信。
  - ・第6回：11月29日に視聴用URLを配信。※上記日付を過ぎてても視聴用URLが届かない場合は、事務局までご連絡ください。
- ③開催期間中（第5回：11月18日～20日、第6回：12月9日～11日）に、②のURLをクリックすると、講演会を視聴できます。

#### 【自主研修の要領】

ご覧になった感想、意見を100字程度にまとめて

東灘区保護司会広報部会宛

「所属支部」「氏名」「視聴月日」を記入してメールください。（支部長による代行メールでも結構です）

送付期限は令和3年12月15日（水）です。（期限遵守と100字程度の感想・意見は必須です）

① 今回の愛着形成の問題については、いろいろな場面で学んできたが、あらためて児童虐待・発達障害・PTSDなどとの関連性がとても強いことを再認識した。そして、保護観察の場面において、その知識を身につけておくことの大切さを学んだ。

しかしながら最も大切なことは、実際の場面でその知識をどう活かすか。その部分はこれから現場を通じて学んでいきたい。

② 親と子の愛着形成について話さなきゃならない立場だったり、C-PTSD 抱えた方のファシリテートさせて貰っているので、本当に勉強になり感謝です。いろんな??が随分解明されました、、そ、そういう事だったんだって、、

教育虐待の事に始まり、、教育現場では結構見て見ないふりしている現実がある事を、今更ながら感じましたし、虐待よりネグレクトの方が子どもの心への影響が大きく後で出てくる恐ろしさとか、とても分かりやすくお話頂け有難かったです。

安心と安全の違い、そして、ストックホルム症候群との共通性とか、考えたことなかったの、深く考える良い機会になりました。

ありがとうございました。

前回と同じお願ですが、、YouTube でずっと、視聴者への制限なしで、流して頂きたいです！！

保護司じゃないけれど、この内容ご視聴いただき、一緒に学びたい方、いっぱいいらっしゃいます。

③ 虐待と言えば、身体的・心理的・性的なものをイメージしますが、教育や医療にも虐待・ネグレクトがあるのは考えさせられました

以前、更生保護女性会の講演会で島田妙子さんの講演会があったと聞きましたが、またお会いして、いろいろお話を聞きたいと思いました

④ 本年6月3日（木）に引き続き、2回目の視聴であり、心理学の難しい内容であるが、より理解が進みました。

小児期における親等からの愛情の欠如は、発達段階で種々の問題を起こします。講義では、愛着形成に問題のある思春期少年の行動特徴として、不登校、反抗・虚言、暴力、盗み等が挙げられていました。また、子ども虐待と非行・犯罪の関係は、少年院在院者のうち約60%が被虐待体験を有しているというデータもあります。

良く言われるように、「犯罪者は犠牲者である」と言われる所以です。対象者に接する時には、この事をよく理解して対応せねばならないことを再確認いたしました。

⑤ 今回は2回目の視聴でしたが、「虐待・ネグレクトと心の問題」について理解を深めることができました。2回とも保護司対象で、しかも期間限定の配信でしたが、そろそろ一般公開しても良いのではないのでしょうか？確かに「愛着障害とは何か」が発行されていますが、法務省 MOJchannel で公開されることをお願いします。